

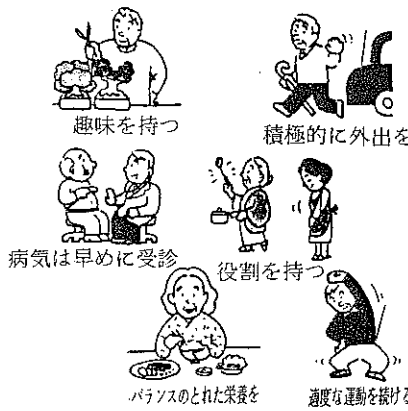
寝たきりにさせないために

「寝たきり老人」という言葉は日本にしかありません。最近では「寝かせきり」「寝かされきり」であるともいわれます。寝たきりになってからの介護は精神的、肉体的にも大変でありお年寄りもつらいこと。少しでも予防は出来なideしようか。

▼じっとしていると動けなくなる



▼病氣・事故の防止と活動的な暮らし



▼身のまわりのことはできるだけ自分で



▼座る生活に——椅子か車椅子の用意を

座ると全身の筋肉が働き、心臓の働きも強まって血液の循環もよくなります。座位が保てれば食事・排泄・シャワー浴も楽です。足の拘縮・床ずれを防ぎ、寝ていて見える空間は天井とベッドの周囲位。座ると部屋の大半、窓の外、テレビも見やすく気分も明るくなり、生活への意欲をもたらしめます。



お世話になります！十全医療学院附属病院

★十全病院で
週3回
月・水・金曜日
★ホーム内で
週1回
火曜日



*機能回復
*残存機能維持
*廃用性萎縮の
 予防
*精神的安定
 など



だんだんと暖かくなり、春らしくなってきました。体をのびのびと動かすことができる季節です。でも、春夏秋冬を問わず入所者の皆さんに大切なのがリハビリテーション。いつも御世話になっているのが藤原先生や澤田先生をはじめとする、十全病院のPT・OTの先生方です。当ホームでは週に三回、十全病院に通ったり、週に一回ホームに来て訓練していただいています。いろいろな会話を交しながらの訓練は、やさしく、時には厳しく進みます。

でも、このリハビリの時間は入所者の

皆さんにとって楽しく待ち遠しいものとなっています。食事動作がスムーズになってきた、電動車椅子に乗ることができた、車椅子への移動ができやすくなったなど、様々な声が聞かれています。ホーム内での自主的な訓練にも役立ち、毎日の生活に張りがでてきました。

ステキ・かわいい・おもしろい・たくましいと、いろんな先生がいっぱい。そんな先生に会えるのも楽しみの一つかも。訓練には根気が必要ですが、これからもよろしくお祈いします。